

⑦ 長崎大学生生活協同組合との連携

環境報告書 Vol.7

2011年6月28日

《環境方針》

長崎大学生協は、組合員の意志によって作られました。長崎大学生協の役割は、協同互助の精神に基づき民主的運営により組合員の生活の文化的経済的改善向上を図ることを目的としています。

環境保全活動が商品、サービス、及びすべての活動の基礎的な取り組みであると認識し、可能な範囲において、目的・目標を設定し、見直す枠組みを与え、環境保全活動を以下のとおり、継続的改善と汚染の予防を推進します。

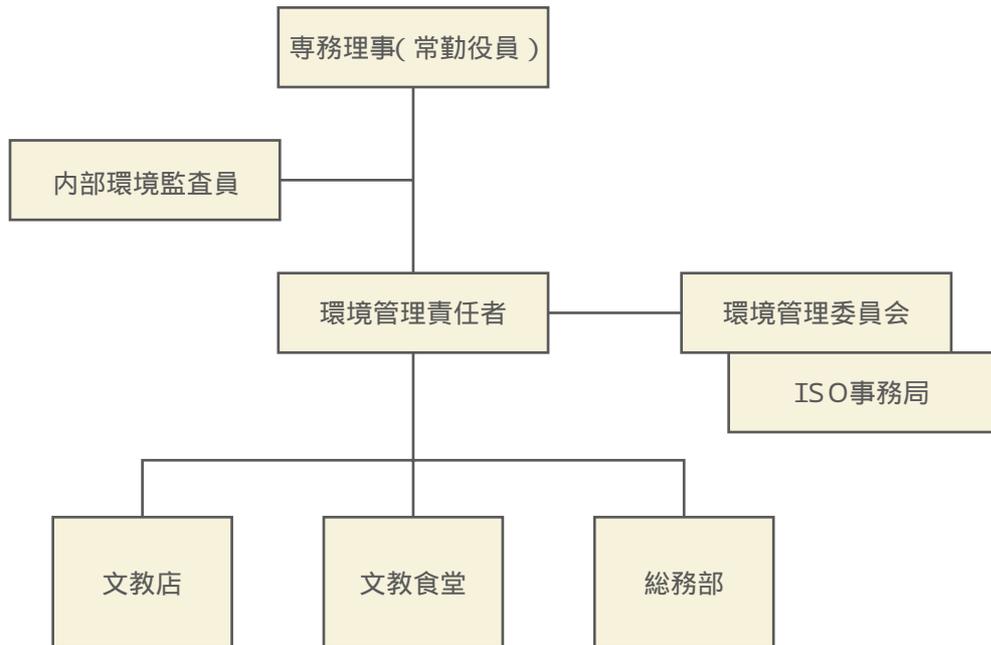
- (1)環境側面に関係する法規制、条例、その他受け入れを決めた要求事項を遵守します。
- (2)長崎大学生協文教キャンパス施設において、電気、ガス、水の使用量削減、廃棄物の削減、リサイクル活動をすすめます。
- (3)環境保全活動を推進するため、環境マネジメント推進組織を整備し、全職員が活動できるようにします。
- (4)内部環境監査を実施し、自主管理による環境マネジメントシステムの維持向上に努めます。
- (5)環境教育、内外の公表を行い、全職員の環境方針の理解と環境に関する意識の向上を図ります。

= = 環境方針はパンフレットなどを作成し、長崎大学生協内外に広く公表します。 = =

2010年12月27日

長崎大学生生活協同組合 専務理事 伊東 治道

《環境管理体制組織図》



《2010年度活動記録》

- ・環境管理委員会 (3 / 3、5 / 12、6 / 3、7 / 6、8 / 4、10 / 5、11 / 4、1 / 11、2 / 3)
- ・内部環境監査 (11 / 16)
- ・一般教育 (12 / 15、12 / 16)
- ・特別教育 (12 / 15、12 / 16)
- ・一般特別教育 (11 / 17)
- ・内部監査研修 (8 / 20)
- ・環境科学部主催セミナー参加 (2人)
- ・初期研修 (随時)
- ・特別教育 (12 / 16、消防訓練)
- ・更新審査 (12 / 27)

《環境目標》

(環境マネジメントプログラムより)

- | | |
|---|--|
| <p>1. 電力の使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)照明器具の適切な管理による節電 (2)エアコンの温度管理による節電 (3)コピー機やパソコンの適切な管理による節電 (4)手順書に基づいて運用管理 <p>2. ガスの使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)エアコンの適切な管理による削減 (2)エアコンの温度管理による削減 | <p>3. 水の使用料削減</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)手順書に基づいた運用管理 <p>4. 生ゴミ廃棄の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)手順書に基づいた運用管理 <p>5. 弁当容器のリサイクル率アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)リサイクルの組合員への広報 (2)売れ残り弁当容器のリサイクル (3)より効果的な回収方法の検討と実施 |
|---|--|

《2010年度の取り組み状況》

1. 電力の使用量削減

文教キャンパスの生協施設の電気使用量を削減し、環境負荷の軽減と同時に施設のコスト抑制に貢献することを目的に、取り組んでいます。

2009年対比で7.7%増加しました。主要な要因として、学生団体の2Fホール使用が増加したことが考えられます。

また、夏場、冬場の冷暖房については、ドア開閉お願いが不十分だったことが考えられますので、表示の徹底が必要です。

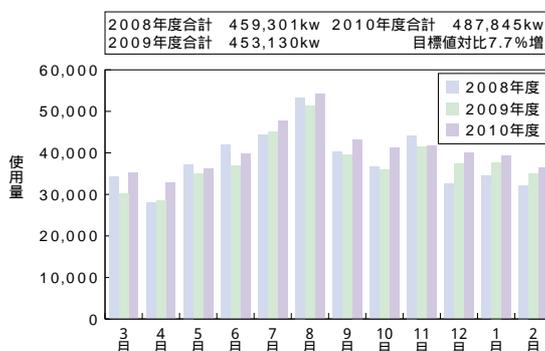
また、文教店の営業後の管理が弱かったことも課題と考えています。

2. ガスの使用量削減

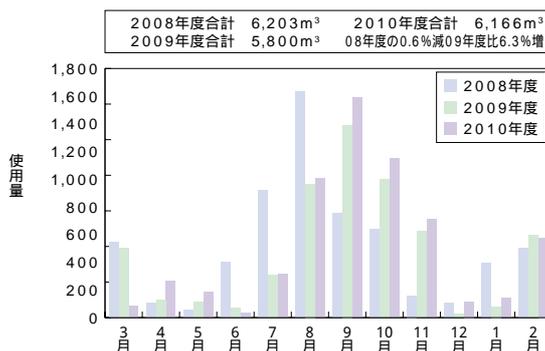
文教キャンパスの生協施設のガス使用量を削減し、環境負荷の軽減と同時に施設のコスト抑制に貢献することを目的に、取り組んでいます。測定数値は文教店のエアコンの都市ガス使用です。

学生団体の利用時のエアコン管理が不十分でした。空調使用時のドアの開閉について案内が不十分だったことも大きなロスと考えています。9月の営業時間を09年よりも長くしたことも原因の一つです。

電気使用量 (Kw)



ガス使用量 (m³)



3. 水の使用量削減

文教食堂で使用する水の使用量の削減に2006年度から新たに取り組み始めました。

2010年度は対2006年度の客数伸長率を乗じ、その20%の削減を目指して取り組みました。

厨房から脂分を流さないという取り組みを強化する過程の中で、2009年より食器洗浄を「貯め洗浄」にしました。

水の使用量が増加していることを調査し、洗米機の故障を発見しました。また、利用客数が10月より大幅に伸長したことが増加の最大要因と考えています。

4. 生ゴミ廃棄の削減

文教食堂は生ごみ廃棄量が年間100トン未満であり、食品リサイクル法の適用は受けませんが、自主的に生ゴミ削減の取り組みを開始しました。

2010年度は対2006年度の客数伸長率を乗じ、その4%の削減を目指して取り組みました。夕方の利用客数が伸長したことも廃棄を抑える要因になりました。

5. 弁当容器のリサイクル

生協オリジナル弁当の容器を回収し、別用途での再利用を図ることにより、ゴミの量を軽減することを目的に取り組んでいます。

2004年度は回収方法・再利用方法を調査・検討する段階を目標としてスタートし、2005年1月より、并類の弁当容器の回収を開始しました。

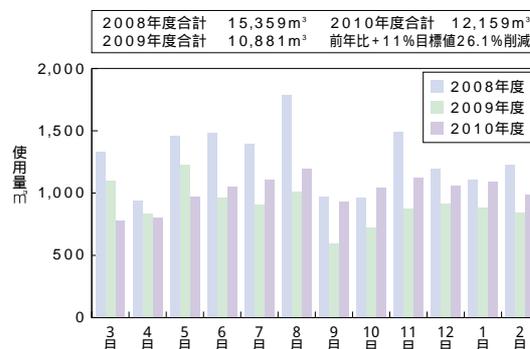
05年3月～06年2月の回収状況は累計で回収率28%でした。

2009年度は60%近い回収率となっています。

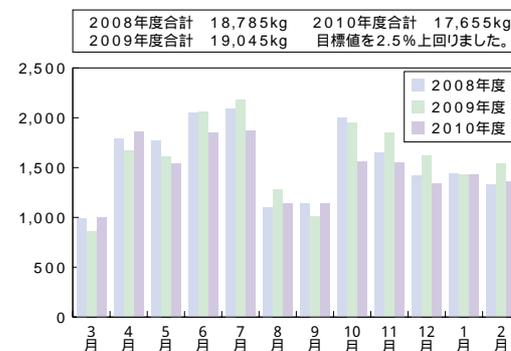
2010年度は51.93%と大きく後退しました。組合員への掲示など前年よりも不十分だったこと、臨時販売所での回収率が低い為臨時販売所での啓蒙を強化する必要があります。

研究室向けにポイント加算など工夫が必要だと考えています。

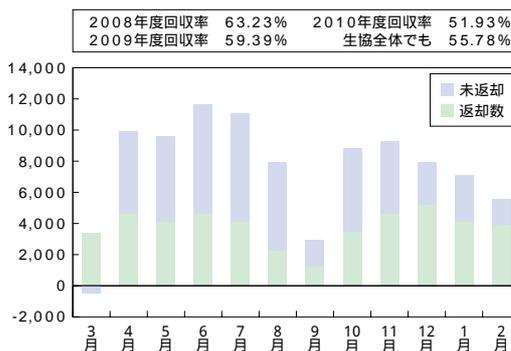
文教食堂の水使用量 (m³)



生ゴミ廃棄量 (kg)



容器リサイクル



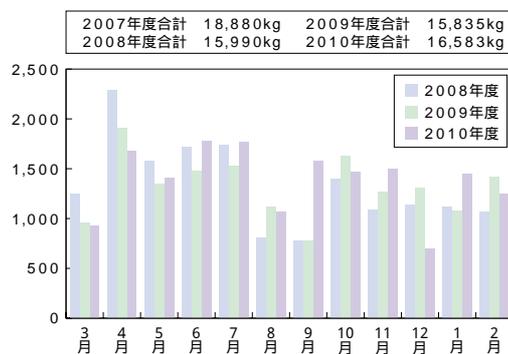
6. その他

環境プログラムとして設定していませんが、ダンボール回収・再利用（全体）コピー用紙利用削減（文教食堂）も引き続きデータを取りながら活動しています。

その他、カップ自販機紙カップのデポジットによる回収やペットボトル回収の取り組みをおこなっています。

利用客数の増加に伴い、仕入が増えていますので、段ボールの廃棄量が11月より伸長しています。

段ボール廃棄量（kg）





《ISO14001認証取得》

長崎大学生生活協同組合は、2004年1月28日にISO14001認証取得をいたしました。それ以来、ISO14001マネジメントシステムに基づき、日常的な活動における取り組みを継続的に、改善を行いながら進めてきました。

長崎大学生協は、組合員とともに環境保全活動を推進し、環境配慮に貢献できる学生を育成することで「長崎大学環境配慮の方針」の実現に貢献し、社会的に価値ある存在になりたいと願っています。